

ゆりかご

2017. 11月号

<http://dai2-m-wakakusa.net/>

H.29.10.25



一番身近な隣人を自分自身のように愛することは難しいものです。それは、隣人と自分を同時に愛することができないからです。どこかでどちらかを優先させなければなりません。イエス・キリストはすべての人間の罪の身代わりとして、自分から十字架にかかり死なれました。人はイエス・キリストの十字架の愛を見上げた時、初めて自分自身より隣人を愛す愛が与えられます。

【園長から】

今年も雨…体育館での「運動会」～感動をありがとう!

園長 磯野 佳美

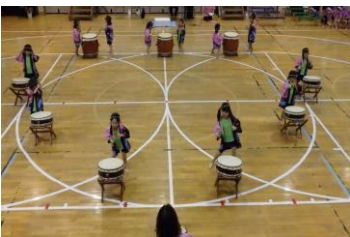
「最後まであきらめない」強い心でがんばりました!!



やっぱり雨…昨年にも続き体育館での実施でしたが、皆様にご協力戴き無事に「運動会」が出来ました。昨年の反省を活かして、配置の変更も考慮して取組みより身近で園児を観て戴けたと思います。たくさんの声援をありがとうございました。乳児組も受け入れ後の入場で、少し

涙のお友達もいましたが、皆元気に参加し、可愛い姿が見られましたね。まんま組は初舞台-やっぱりいつもの様子とはならなかったようですが、それぞれの出番で「楽しかった・一緒に参加して嬉しかった★」etcとお言葉を戴けて良かったです。とまと組は、1年の成長を感じました。パレードも競技もしっかりと行い、楽しんでいましたね♥

幼児組デビューのさくら組-しっかり入場でき、競技もパラバルーンも可愛くカッコよく披露して、楽しんでいましたね。ひかり組は恒例登り棒を頑張りました。そして和太鼓も法被姿もカッコよく、出来ましたね。鼓笛演奏に、白と青の旗の演技も合わせてコラボ♪すてきでした。そしてぎんが組。今年は、鼓笛もリズム♪をしっかりと行うことを目標に進めました。そして、皆で合わせることもしっかりと行う事が出来て感動! 跳び箱は、障害物競争ではなく、高さよりも「しっかり跳ぶ」ことを目標に進めました。「わかくさ」の合言葉「最後まであきらめない」を実行!! これからもひとりひとりの「伸びる力」を大切にしっかりと保育に努めます。保護者の皆様からも沢山の言葉を戴き、感謝です。今年もたくさんの「感動をありがとう」。これからも今までたくさん遊んで身についた運動面を活かし、さらにそれぞれの発達年齢に合わせ活動していきます。



そして次に「遠足」と秋の保育へつなげましたが、…しかし実施は、3歳児さくら組のみ…秋の長雨と大型の台風直撃で、芋ほりも延期---来週実施予定です。さくら組は、唯一晴れた1日に園バス「わかくさ号」で「小山田緑地」に出掛けてアスレチックを楽しんだり、野原を走って大喜びでした。延期のひかり組は園バス「わかくさ号」で「こどもの国・わかくさ保育園・リス園巡り」を雨の車中から楽しみました。ぎんが組も園バス「わかくさ号」で雨上がりに根岸公園の散歩を楽しみ、お弁当に大喜び★2回も嬉しいです★の言葉に感謝。お忙しいところありがとうございました。明日・明後日は♥晴♥楽しい一日となりますように。

そして、ぎんが・ひかり組は「チャリティ芸術祭」に参加。台風前の雨の中、ご参加ありがとうございました。今年も「可愛いね～涙が出ました♥」「カッコよかったね～★」と、地域の皆様に声をかけて戴き、「このイベントの恒例演目です」とお言葉も戴きました。こうして地域の一人として皆様とふれあい、共に過ごせる事に感謝ですね。在園児のお友達・ご家族の皆様にも応援頂きありがとうございました。そして次は「遊戯会」を楽しみにしている声も聞かれ、観て頂く喜び・披露する楽しさを保育活動の中で進めます。

★感謝の『祝福式』があります。慌ただしい毎日と存じますが、お子様の健やかな成長を感謝する一時を過ごしましょう。保護者の皆様も、その時間だけどうぞご参加くださいね。

◆11月は「児童虐待防止推進月間」です。【Tel189】児童相談所相談ダイヤル開設中! 「児童の福祉に職務上関係のある者(保育園)は、児童虐待を発見しやすい立場にあることを自覚し、児童虐待の早期発見に努めなければならない。」と、法律で定められています。予防・防止並びに児童の保護に努めるとともに「通告の義務」があります。人権を著しく侵害し、その心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与えます。日々多忙な中で子育てに不安・その他の事でご心配がもしありましたら、ぜひ一人で悩まずお声かけ下さいね。

祝福式

晩秋の街に育ての祈り、今日は佳き日。はるばるとふるきならわし ちいさい生命よすこやかに育てと久遠の祈り神にとどけよ 樹ぎたちは大きく枝をひろげてみずからの念いを空に語るのか、草たちは そのみどりをひろげてみずからの願いを風に語るのか、あなたは人の子、みずからの念いを神に語たりその持てるところを開花させあなたの花を咲かせよう。

八重



*創設者:阿部八重先生の本【子守りの詩】より玄関に置いてあります。手にとってご覧くださいね。

